

ブラジル: 第 14 次ライセンスラウンド、法定プレソルトエリア外のプレソルトをめがけ、サインボーナスは過去最高

(Platts Oilgram News, International Oil Daily, Business News Americas 他)

1. ブラジル国家石油庁 (ANP)は 2017 年 9 月 27 日に第 14 次ライセンスラウンドを実施した。落札鉱区数は 37 鉱区と少なかったものの、サインボーナスの合計はブラジル政府の予想を上回る 38.4 億リアル(12 億ドル)と過去最高を記録した。今回の入札に際し、政府が国内調達比率の緩和、ロイヤリティ引き下げ、税制上のインセンティブ付与を行ったこともさることながら、「法律で定められたプレソルトエリア」の外に位置するものの、実際にはプレソルトの内側に設定されている Campos 盆地の鉱区が公開されたことが、サインボーナスが過去最高となった最大の理由と考えられる。落札された Campos 盆地 8 鉱区のサインボーナスは合計で 36.6 億リアルと総額の 95%を占めた。企業別では、ExxonMobil は Petrobras 等と組んで、この Campos 盆地の鉱区を含め合計 10 鉱区を落札し注目を集めた。このうち、C-M-346 鉱区はサインボーナスが 22.4 億リアル(7.1 億ドル)と最高額となった。
2. 10 月 27 日には第 2 次、第 3 次プレソルトライセンスラウンドが実施される。第 2 次プレソルトライセンスラウンドには、Petrobras、ExxonMobil、Galp Energia、Petronas、Repsol Sinopec、Shell、Statoil、Total、Chevron、OP Energia の 10 社が、第 3 次プレソルトライセンスラウンドには Petrobras、ExxonMobil、BP、CNODC、Galp Energia、Qatar Petroleum、Petronas、Repsol、Shell、Statoil、Total、Chevron、CNOOC、Ecopetrol の 14 社が参加する。プレソルト開発法の改正法により、今回のライセンスラウンドからプレソルトの対象鉱区の探鉱・開発に参加するか否かを選択する権利を与えられることになった Petrobras は、Sapinhoa、Peroba、Alto do Cabo Frio Central の 3 鉱区について権益 30%を取得しオペレーターとなる。不安定な政治状況と環境規制が強化されつつあることが不安材料とされるものの、第 14 次ライセンスラウンドの結果がプレソルトを狙える鉱区については良好であったことから、プレソルトのライセンスラウンドではさらに良い結果が期待できると見られている。

1. 第 14 次ライセンスラウンド

ブラジル国家石油庁 (ANP)は、2017 年 9 月 27 日、9 堆積盆地の陸上、沖合の 287 鉱区(総面積 122,600km²)を対象に第 14 次ライセンスラウンドを実施した。32 社がこのライセンスラウンドの PQ を取得し、うち 20 社が入札を行い、17 社が 37 鉱区を落札した。落札された鉱区は全鉱区の 12.9%に過ぎず、2015 年の第 13 次ライセンスラウンドの 14%よりも低かった。一方、サインボーナスの合計は 38.4 億リアル(12 億ドル)で、これまでのサインボーナス合計の最高額である 2013 年の第 11 次ライセンスラウンドの 28.23 億リアルを上回る水準となった。事前の予想では、サインボーナスは合計で 5~10 億リアル程度とみられていたこともあり、Fernando Coelho Filho エネルギー相は期待以上の結果であったと語った。

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

表1.ブラジルライセンスラウンド結果一覧 (サインボーナスの単位:百万ドル)

ライセンスラウンド	年月	落札鉱区数	入札企業数	サインボーナス
第1次	1999/6	12	14	181
第2次	2000/6	21	27	260
第3次	2001/6	34	26	243
第4次	2002/6	21	17	34
第5次	2003/8	101	6	9
第6次	2004/8	154	21	221
第7次	2005/10	251	32	472
第9次	2007/11	117	42	1,200
第10次	2008/12	54	23	38
第11次	2013/5	142	39	1,408
第12次	2013/11	72	12	71
第13次	2015/10	37	17	31
第14次	2017/9	37	20	1,200

(ANP ホームページ他を基に作成 サインボーナスは各時点の為替レートで換算)

今回の入札で特に注目を集めた鉱区は Campos 盆地大水深の 10 鉱区である。これらの鉱区は、2016 年末に第 14 次ライセンスラウンドの対象鉱区に追加された鉱区である。「法律で定められたプレソルトエリア」の外に位置するものの、実際にはプレソルトの内側に設定されており、今回のライセンスラウンドでもっとも有望とされる鉱区である。「法律で定められたプレソルトエリア」については契約形態が PS 契約となるのに対し、これらの鉱区はコンセッション契約を締結することとなる。

これら Campos 盆地の 10 鉱区のうち南側の 6 鉱区については、Petrobras(オペレーター、権益保有比率 50%)と ExxonMobil(同 50%)のコンソーシアムがサインボーナス合計 35.9 億リアルで全鉱区を落札した。このうちサインボーナスが最も高額だったのは、C-M-346 鉱区で金額は 22.4 億リアル(7.1 億ドル)、次いで C-M-411 鉱区が 12 億リアル(3.8 億ドル)であった。この 2 鉱区については、同コンソーシアムの他にも、Shell/Repsol のコンソーシアム、Total/BP のコンソーシアム、CNOOC が札を入れたが、Petrobras/ExxonMobil コンソーシアムが桁違いのサインボーナスを提示し、落札した。

ExxonMobil は単独で Campos 盆地の北側 4 鉱区のうち東側の 2 鉱区も落札した。

さらに、ExxonMobil は Sergipe-Alagoas 盆地の SEAL-M-501 鉱区と SEAL-M-503 鉱区を Murphy Oil (権益保有比率 20%)、Queiroz Galvão Exploração e Produção (QGEP)(同 30%)と組み落札した。ExxonMobil はこれらの鉱区の権益の 50%を保有し、オペレーターを務める。なお、QGEPはこのライセンスラウンドの直後に、2015 年の第 13 次ライセンスラウンドで取得した Sergipe-Alagoas 盆地の SEAL-M-351 鉱区と SEAL-M-428 鉱区の権益 50%を ExxonMobil に、20%を Murphy Oil に売却したことを明らかにした。両鉱区は SEAL-M-503 鉱区の北に隣接しており、これら 4 鉱区は、Petrobras が発見

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

した Farfan、Muriu、Poço Verde、Moita Bonita、Barra、Cumbe 油田に近接している。Farfan 油田では 2018 年に長期生産テストが実施される予定である。

ExxonMobil は今回のライセンスラウンドを、PS 契約ではなくコンセッション契約を締結しプレソルトに参入できる好機と捉えたと考えられる。同社が 10 鉱区と多くの鉱区を落札したことから、今後ブラジル深海を中核事業の一つとする考えであり、プレソルトのライセンスラウンドでも積極的に札を入れてくるのではないかと見られている。

Repsol と CNOOC は Espirito Santo 盆地の ES-M-592 鉱区と ES-M-667 鉱区をそれぞれ落札した。ES-M-667 鉱区については、Repsol と CNOOC がそれぞれ札を入れ、サインボーナスでは CNOOC が上回っていたものの、最低作業量で Repsol が上回り落札した。

今回のライセンスラウンドでは陸上鉱区への入札はごくわずかであった。

また、9 堆積盆地のうち Pelotas Basin には 1 件も札が入らなかった。

Santos 盆地についても 76 鉱区に 1 件しか札が入らなかった。札を入れたのは Karoon で、落札した S-M-1537 鉱区は同社が Petrobras より買収を試みている Bauna 油田の東に位置している。

鉱区を落札した 17 社中 10 社がブラジル企業であったことも、今回のライセンスラウンドの特徴と言えよう。

表 2.第 14 次ライセンスラウンド結果

堆積盆地	鉱区	入札 件数	落札企業	サインボーナス (リアル)
Parnaíba	PN-T-117	1	Parnaíba Gás Natural S.A.* (100%)	307,581
	PN-T-118	1	Parnaíba Gás Natural S.A.* (100%)	426,032
	PN-T-119	1	Parnaíba Gás Natural S.A.* (100%)	597,721
	PN-T-133	1	Parnaíba Gás Natural S.A.* (100%)	571,021
	PN-T-134	1	Parnaíba Gás Natural S.A.* (100%)	783,803
Potiguar	POT-T-785	1	Geopark Brasil Exploração e Produção de Petróleo e Gás Ltda.* (100%)	412,500
Santos	S-M-1537	1	Karoon Petróleo e Gás Ltda.* (100%)	20,018,400
Recôncavo	REC-T-109	1	Petroil Óleo e Gás Ltda.* (100%)	73,681. 92
	REC-T-119	1	Petroil Óleo e Gás Ltda.* (100%)	51,074 .38
	REC-T-120	1	Petroil Óleo e Gás Ltda.* (100%)	132,093.7
	REC-T-126	1	Tek Óleo e Gás Ltda.* (100%)	88,000
	REC-T-151	1	Muncks & Reboques Brasil Ltda.* (100%)	66,432. 88
	REC-T-127	1	Tek Óleo e Gás Ltda.* (100%)	1,411,000
	REC-T-166	2	Great Energy S.A.* (100%)	121,000
Paraná	PAR-T-175	1	Petróleo Brasileiro S.A.* (100%)	1,690,771.75
Espírito Santo	ES-M-592	1	CNOOC Petroleum Brasil Ltda.* (100%)	23,554,500
	ES-M-667	2	Repsol Exploración S.A.* (100%)	23,067, 080.67

Global Disclaimer (免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

	ES-T-345	1	Bertek Produtos, Serviços e Mineração Ltda.* (100%)	131,000
	ES-T-354	1	Imetame Energia Ltda.* (100%)	453,000
	ES-T-373	2	Imetame Energia Ltda.* (100%)	350,000
	ES-T-441	1	Imetame Energia Ltda.* (100%)	1,000,150
	ES-T-453	1	Vipetro Petróleo S.A.* (100%)	601,302
	ES-T-476	1	Bertek Produtos, Serviços e Mineração Ltda.* (100%)	355,000
	ES-T-477	1	Imetame Energia Ltda.* (100%)	245,150
	ES-T-487	2	Imetame Energia Ltda.* (100%)	800,150
Sergipe-Alagoas	SEAL-T-132	1	Muncks & Reboques Brasil Ltda.* (100%)	95,000
	SEAL-T-430	1	Greenconsult Consultoria Empresarial Ltda. - EPP* (100%)	112,951
	SEAL-M-501	1	ExxonMobil Exploração Brasil Ltda.* (50%) Queiroz Galvão Exploração e Produção S.A. (30%) Murphy Exploration & Production Company (20%)	62,824,501
	SEAL-M-503	1	ExxonMobil Exploração Brasil Ltda.* (50%) Queiroz Galvão Exploração e Produção S.A. (30%) Murphy Exploration & Production Company (20%)	47,118,503
Campos	C-M-37	2	ExxonMobil Exploração Brasil Ltda.* (100%)	47,118,037.09
	C-M-67	1	ExxonMobil Exploração Brasil Ltda.* (100%)	16,334,067.09
	C-M-210	1	Petróleo Brasileiro S.A.* (50%) ExxonMobil Exploração Brasil Ltda. (50%)	12,977,210.09
	C-M-277	1	Petróleo Brasileiro S.A.* (50%) ExxonMobil Exploração Brasil Ltda. (50%)	40,977,277.09
	C-M-344	2	Petróleo Brasileiro S.A.* (50%) ExxonMobil Exploração Brasil Ltda. (50%)	30,977,344.09
	C-M-346	4	Petróleo Brasileiro S.A.* (50%) ExxonMobil Exploração Brasil Ltda. (50%)	2,240,977,346.09
	C-M-411	4	Petróleo Brasileiro S.A.* (50%) ExxonMobil Exploração Brasil Ltda. (50%)	1,200,977,411.09
	C-M-413	1	Petróleo Brasileiro S.A.* (50%) ExxonMobil Exploração Brasil Ltda. (50%)	64,977,413.09

(出所: ANP)

Global Disclaimer (免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

2015年の第13次ライセンスラウンドは、原油価格の下落やローカルコンテンツについての変更が少なかったこと等から対象とされた266鉱区中37鉱区しか落札されず、サインボーナスも3,100万ドルと低調な結果に終わった。その反省から、ブラジル政府は第14次ライセンスラウンドにはフレキシブルで魅力的な契約条件を提示するとしていた。国内調達比率は探鉱18%、坑井掘削・仕上げ25%、原油収集、輸送システム40%、生産設備25%と従来の約半分に緩和され、国外から安価な資機材を遅滞なく調達できることとなった。Pelotas盆地沖合やParaná盆地陸上等リスクが高いと認められるエリアについてはロイヤルティが5%に引き下げられた。また、資機材の輸出入に課される関税を免除する税制上のインセンティブ Repetro が2040年まで20年延長された。これらの変更が行われたものの、プレザルトでの油田発見を狙える有望鉱区に札が集中した以外は、全体としては入札数、落札鉱区数は少なく、低調な入札となった。

なお、ANPは、2018年1月末までに今回落札された鉱区の契約を締結するとしている。

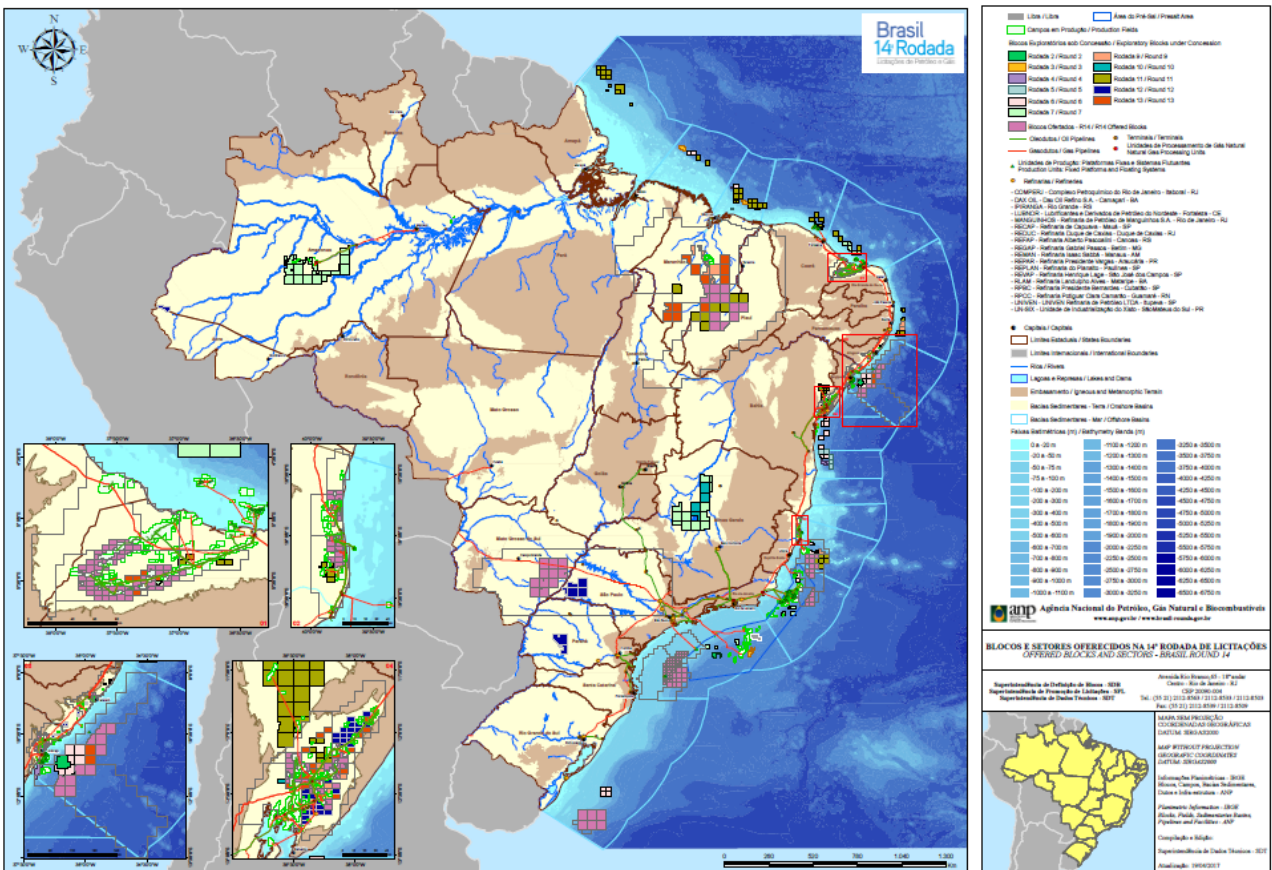


図1.第14次ライセンスラウンド対象鉱区

(出所:ANP、■ 第14次ライセンスラウンド対象鉱区)

Global Disclaimer (免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

2.プレソルトライセンスラウンド

ANP は、第 2 次、第 3 次プレソルトライセンスラウンドを 10 月 27 日に実施する計画である。

第 2 次プレソルトライセンスラウンドでは、Petrobras がオペレーターを務める Carcará、Sapinhoá、Tartaruga Verde と Shell がオペレーターを務める Gato do Mato の周辺鉱区が公開され、第 3 次プレソルトライセンスラウンドでは、Pau Brasil、Peroba、Alto de Cabo Frio Oeste、Alto de Cabo Frio Central 鉱区が公開される。政府引取り利益原油の割合が高い企業が鉱区を落札する。サインボーナス額は各鉱区ごとに定められており、全鉱区が落札されれば、合計で第 2 次ライセンスラウンドが 34 億リアル、第 3 次ライセンスラウンドが 43.5 億リアルとなる。国内調達比率は、第 2 次プレソルトライセンスラウンドについては隣接するユニタイゼーションされる鉱区と同比率とされ、第 3 次ライセンスラウンドについては探鉱 18%、坑井掘削、仕上げ 25%、原油回収、輸送 40% 生産設備 25%とされている。

ANP によると、第 2 次プレソルトライセンスラウンドには、Petrobras、ExxonMobil、Galp Energia、Petronas、Repsol Sinopec、Shell、Statoil、Total、Chevron、OP Energia(Ouro Preto Oleo e Gas 子会社)の 10 社が参加する。また、第 3 次プレソルトライセンスラウンドには Petrobras、ExxonMobil、BP、CNODC (CNPC 子会社)、Galp Energia、Qatar Petroleum、Petronas、Repsol、Shell、Statoil、Total、Chevron、CNOOC、Ecopetrol の 14 社が参加する。

なお、プレソルト開発法改正法により、Petrobras は今回のライセンスラウンドよりプレソルトの対象鉱区の探鉱・開発に参加するか否かを選択する権利を与えられることになったが、今回のライセンスラウンドでは Sapinhoa、Peroba、Alto do Cabo Frio Central の 3 鉱区について権益 30%を取得しオペレーターとなることを明らかにしている。

不安定な政治状況と環境規制が強化されつつあることが不安材料とされるものの、第 14 次ライセンスラウンドの結果がプレソルトを狙える鉱区については良好であったことから、ANP の Decio Oddone 長官は、プレソルトのライセンスラウンドではさらに良い結果が期待できると語っている。

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示してくださいようお願い申し上げます。



図2.第2次プレサルトライセンスラウンド対象鉦区

(出所:ANP、各種資料より作成)

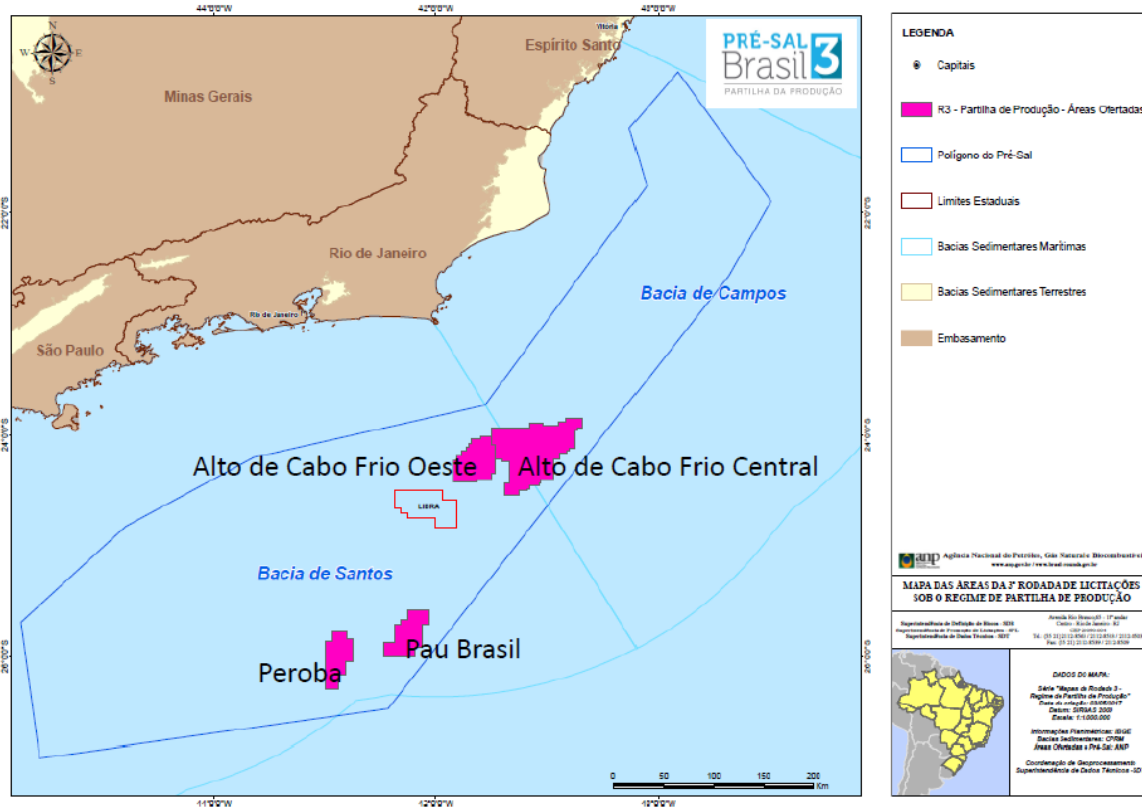


図3.第3次プレサルトライセンスラウンド対象鉦区

(出所:ANP に加筆)

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

表 3.プレソルトライセンスラウンド概要

	対象鉱区	サイン ボーナス (億レアル)	政府引取り利益 原油 最低比率	可採埋蔵量 (bbl)	ローカルコンテンツ
第 1 次	Libra	150	41.65%	80~120 億	探鉱 39%、 開発 55% (~2021 年)、59% (2022 年~)
第 2 次	Norte de Carcará	30	22.08%	22 億	探鉱 35%、生産 30%
	Sul de Gato do Mato	1	11.53%		探鉱 38%、生産 60%
	Entorno de Sapinhoá	2	10.34%		探鉱 35%、生産 30%
	Sudoeste de Tartaruga Verde	1	12.98%		探鉱 55%、生産 65%
第 3 次	Pau Brasil	15	14.4%*	41 億	探鉱 18% 坑井掘削、仕上げ 25% 原油回収、輸送 40% 生産設備 25%
	Peroba	20	13.89%*	53 億	
	Alto de Cabo Frio Oeste	3.5	22.87%*		
	Alto de Cabo Frio Central	5	21.38%*		

*Brent が 50 ドル/bbl で、1 坑あたりの生産量が 12,000b/d の場合

(各種資料より作成)

以上

Global Disclaimer (免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示してくださいようお願い申し上げます。